



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	2,317	1,554	423	0
	県支出金	(千円)	1,310	777	211	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	4,139	2,455	667	0
	一般財源	(千円)	2,713	1,430	389	0
事業費計		(千円)	10,479	6,216	1,690	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.40	0.40		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,823	2,714		
事業コスト		(千円)	13,302	8,930		

R02年度当初積算根拠	こころとからだの健康教室事業 1690千円 07報償費 354千円 (認知症機能向上教室) 10需用費 201千円 11役務費 1,139千円 13使用料及び賃借料 215千円
-------------	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	7,165	3,662	1,540	0
	県支出金	(千円)	3,583	1,831	770	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	3,583	1,831	770	0
	一般財源	(千円)	4,280	2,188	920	0
事業費計		(千円)	18,611	9,512	4,000	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.40	0.40		
		時間外勤務 (時間)	50.00	50.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,948	2,837		
事業コスト		(千円)	21,559	12,349		

R02年度当初積算根拠	在宅介護支援センター運営事業委託料 基本事業費 500,000円×8施設=4,000千円					
-------------	---	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	地域包括支援センター設置による事業の縮小のため
縮小		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	359 総合相談・支援事業								
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部地域包括支援課 包括支援係			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	任意的事務			
予算科目	08-030301-11 包括的支援事業総務に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
要求区分		事業期間	平成18年度～						
個別計画	つくば市高齢者福祉計画								
根拠法令	介護保険法				事業体制	一部委託			
					市長公約				
概要									
事業の目的				事業の概要					
<p>地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるように、どのような支援が必要かということ把握し、適切なサービス、制度の利用等につなげる。</p>				<p>・相談を受け、その方のニーズに応じて適切なサービスにつながるワンストップ相談窓口を実施する。            ・直営の地域包括支援センターとともに市内4か所に委託している地域包括支援センターと市内3か所の在宅介護支援センターにも相談業務を委託している。</p>					
評価									
事業計画				活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>職員全体で迅速かつ適切な対応を実施できるよう概ね3か月毎にケース共有を行う。</li> <li>地域のイベント等に参加し、地域包括支援センターの啓発活動を行う。</li> <li>地域の関係機関との連携構築のため圏域別ケア会議に地区担当者が出席する。</li> <li>他の日常生活圏域への地域包括支援センターの設置の検討を進める。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>相談延件数(直営)：2,003件(令和2年3月末現在)</li> <li>相談延相談件数(委託)：6,820件(令和2年3月末現在)</li> <li>課内職員ケース共有 1回</li> <li>民生委員連絡協議会やまつりつくば等のイベント出席23回</li> <li>大穂豊里、谷田部西地域包括支援センターの開設</li> <li>桜地域包括支援センターの受託者決定</li> </ul>					
成果				課題					
<ul style="list-style-type: none"> <li>委託地域包括支援センターの設置が進み、地域での相談体制の整備が進んだ。</li> <li>課内職員ケース共有は、必要性に応じて必要なメンバーで協議し、相談対応の平準化を図り、適切なサービス制度につなげられた。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>8050問題など年齢を超えた複雑な課題を抱えたケースが増加しており、解決に時間や関係機関との連携が必要であり、センター職員の技量の向上が求められている。</li> </ul>					
改善目標 (R02年度にむけて)									
<ul style="list-style-type: none"> <li>委託地域包括支援センターの設置がすすみ、センター職員の技量向上のため研修を実施する。</li> <li>委託地域包括支援センターごとに相談援助技術の差があり、適時必要な研修を実施する。</li> </ul>									
指標の推移									
1	指標名	相談件数(直営)					( 件 )		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	2,558.0	2,222.0	2,245.0	1,895.0	2,196.0	2,003.0	0.0	
	指標の概要								
2	指標名	相談件数(筑波)					( 件 )		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	1,686.0	1,869.0	0.0	
	指標の概要								

	指標の概要							
3	指標名	相談件数（茎崎）					（件）	活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	2,070.0	2,400.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	相談件数（大穂豊里）					（件）	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,118.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	相談件数（谷田部西）					（件）	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,433.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	28,354	47,449	58,865	0
	県支出金	(千円)	14,177	23,725	29,433	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	14,177	23,725	29,433	0
	一般財源	(千円)	16,938	28,346	35,165	0
事業費計		(千円)	73,646	123,245	152,896	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	2.70	2.70		
		時間外勤務 (時間)	350.00	350.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	19,923	19,177		
事業コスト		(千円)	93,569	142,422		

R02年度当初積算根拠  
 包括的支援事業総務費 152,896千円  
 01会計年度任用職員報酬 1,640千円  
 07報償金 297千円  
 08費用弁償 403千円  
 10需用費 816千円  
 11通信運搬費 371千円  
 12委託料 146,240千円  
 13使用料 2,178千円  
 17備品管理費 715千円  
 18負担金 236千円

予算の方向性		地域包括支援センターを各日常生活圏域ごとに設置するため。
拡充	理由	

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	360 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業								
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部地域包括支援課 介護予防係			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	任意的事務			
予算科目	08-030301-11 包括的支援事業総務に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
要求区分		事業期間	平成18年度～						
個別計画	つくば市高齢者福祉計画								
根拠法令	介護保険法				事業体制	一部委託			
					市長公約				
概要									
事業の目的				事業の概要					
<p>地域支援ネットワークを活用しながら、介護支援専門員、主治医をはじめ地域の様々な関係者が連携・協働することで保健・医療・福祉、その他の生活支援サービスを含め、地域の様々な資源を活用し、包括的・継続的に、高齢者への適切なサービスが提供できるよう支援するため。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>介護支援専門員の相談、担当者会議支援</li> <li>各会議等への出席（居宅介護支援事業所連絡会、役員会、地域ケア会議、地域医療介護連携事業等）</li> <li>主任介護支援専門員に対する支援（連絡会の開催）</li> <li>保健福祉関係者のための 市内の保健福祉サービス民間関連サービス概要の作成</li> </ul>					
評価									
事業計画				活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>主任介護支援専門員連絡会の活動を充実させ、地域のリーダーとして自ら主体的にその役割を果たせるように支援を行う。</li> <li>主任介護支援専門員連絡会会議の開催</li> <li>ケアマネジャー連絡会において行われる研修会が、円滑にかつ質の高い内容となるよう支援する。</li> <li>ケアマネジャー連絡会会議の開催</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>居宅介護支援事業所役員会12回</li> <li>居宅介護支援事業所連絡会9回</li> <li>主任介護支援専門員役員会12回</li> <li>主任介護支援専門員連絡会4回</li> <li>介護支援専門員への相談件数868件（4月～3月）</li> <li>センター職員が出席した、ケアマネが担当する困難事例のサービス担当者会議71件（4月～3月）</li> </ul>					
成果				課題					
<ul style="list-style-type: none"> <li>ケアマネジャーの資質向上のため、医療との連携及び社会保障に関する制度理解の促進のための研修開催を支援し、高齢者への適切なサービス提供が向上した。</li> <li>主任介護支援専門員の指導力及び実践力の向上のため、効果的な研修の実施等、主任介護支援専門員連絡会の活動促進を支援した。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>介護支援専門員のケアマネジメントの質の維持・改善及び主任介護支援専門員の助言・指導能力の向上のため、引き続き研修会等の内容を充実させていくことが必要。</li> </ul>					
改善目標（R02年度にむけて）									
（通年） <ul style="list-style-type: none"> <li>主任介護支援専門員の指導力及び実践力向上並びにケアマネジャーのスキル向上のため、相談対応や研修を実施。</li> <li>高齢福祉等の事業推進への関与を促せるよう、介護支援専門員の業務実態を勘察し、介護支援専門員の業務負担軽減と業務効率化に向けて取組む。</li> </ul>									
指標の推移									
1	指標名	介護支援専門員への相談件数					（ 件 ）		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	200.0	250.0	300.0	350.0	400.0	400.0	400.0	
	実績	401.0	370.0	308.0	248.0	234.0	868.0	0.0	
	指標の概要	直営と委託包括支援センター（4か所）の相談件数の合計を記載した。							
2	指標名								
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要								

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	62	24	9	0
	県支出金	(千円)	31	12	4	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	31	12	4	0
	一般財源	(千円)	36	14	6	0
事業費計		(千円)	160	62	23	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.00		
		時間外勤務 (時間)	50.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,243	0		
事業コスト		(千円)	2,403	62		

R02年度当初積算根拠	主任介護支援専門員連絡会郵送料 84円×4回×70人=23千円					
-------------	---------------------------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	37	31	74	0
	県支出金	(千円)	18	15	37	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	18	15	37	0
	一般財源	(千円)	23	19	44	0
事業費計		(千円)	96	80	192	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	100.00	100.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,661	1,661		
事業コスト		(千円)	1,757	1,741		

R02年度当初積算根拠	高齢者虐待ネットワーク運営委員会委員謝礼 192千円					
-------------	----------------------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	904	1,977	1,739	0
	県支出金	(千円)	452	989	869	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	452	989	869	0
	一般財源	(千円)	541	1,181	1,039	0
事業費計		(千円)	2,349	5,136	4,516	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.30		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	2,118	2,035		
事業コスト		(千円)	4,467	7,171		

R02年度当初積算根拠	保健師報酬4,516千円					
-------------	--------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成30年度	令和 1年度	令和 2年度	令和 3年度
			(決算)	(決算)	(当初)	(当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	1,106	1,249	1,105	0
	県支出金	(千円)	553	625	553	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	553	625	553	0
	一般財源	(千円)	660	745	660	0
事業費計		(千円)	2,872	3,244	2,871	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.40	1.40		
		時間外勤務 (時間)	70.00	70.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	10,054	9,670		
事業コスト		(千円)	12,926	12,914		

R02年度当初積算根拠  
 認知症サポーター養成事業に要する経費 2,871千円  
 01会計年度任用職員報酬 1,492千円  
 07報償金 120千円  
 08旅費費弁 104千円  
 10需用費 852千円  
 11通信運搬費 198千円  
 17管理用備品 105千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	5	当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	5	39	479	0
	県支出金	(千円)	3	19	239	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	3	19	239	0
	一般財源	(千円)	3	23	286	0
事業費計		(千円)	14	100	1,243	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	15.00	15.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,450	1,394		
事業コスト		(千円)	1,464	1,494		

R02年度当初積算根拠	成年後見制度利用支援事業に要する経費 1,243千円 10需用費 78千円 11通信運搬費 302千円 19扶助費 863千円					
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	27,869	16,984	10,730	0
	一般財源	(千円)	0	0	0	0
事業費計		(千円)	27,869	16,984	10,730	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	2.00	2.00		
		時間外勤務 (時間)	180.00	180.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	14,561	14,009		
事業コスト		(千円)	42,430	30,993		

R02年度当初積算根拠	指定介護予防支援事業に要する経費10,730千円 12介護予防サービス計画作成委託料5,365千円 12介護予防ケアマネジメント委託料5,365千円					
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	地域包括支援センター委託により、作成するケアプラン数が減少するため。
縮小		

方向性		
市民ニーズ	2	今後は減少すると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	1	民間等への移管を検討する必要がある。
行政が関与する必要性について		
優先度	1	事業の継続について検討する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	366 在宅医療・介護連携推進事業							
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部地域包括支援課 包括支援係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	08-030301-12 在宅医療・介護連携推進に要する経費			市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
要求区分		事業期間	平成28年度～					
個別計画	つくば市高齢者福祉計画							
根拠法令	介護保険法				事業体制	一部委託		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
<p>医療と介護の両方を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、在宅医療を一体的に提供する体制の構築を推進する。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や関係機関に意識調査を実施し、課題を把握する。</li> <li>・推進協議会を開催し、つくば市の在宅医療・介護連携に関する課題抽出と対応策の検討を行い、つくば市の方針を決定する。</li> <li>・医療介護の関係機関を対象とした意見交換会や研修会の開催、市民啓発を行い、つくば市の医療と介護の連携が推進される仕組みづくりを行っていく。</li> </ul>				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進協議会の開催</li> <li>・医療介護関係への意見交換会、研修会の開催</li> <li>・市民への啓発</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進協議会の開催（6月、11月、3月）</li> <li>・検討課題に応じた実務部会の開催（部会延9回）</li> <li>・医療介護関係者への意見交換会、研修会の開催 多職種連携のための意見交換会（8月23日、3月12日） ケアマネジャー向け研修会（11月27日） 地域リーダー研修会（2月23日）</li> <li>・市民への啓発 健康フォーラムつくば（2月8日） 在宅医療介護啓発講座（各圏域ごとに市内6箇所で開催）</li> </ul>				
成果				課題				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対応した実務部会を開催しお薬手帳を活用した連携ツールや多職種間連携のためのルールを作成し、在宅医療・介護を一体的に提供する体制を推進できた。</li> <li>・在宅医療介護の市民向け講座を開催し、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続ける考えのきっかけを作ることができた。</li> </ul>				在宅医療と介護の連携について、具体的な成果指標の設定をする必要がある。				
改善目標（R02年度にむけて）								
在宅医療と介護の連携についての成果指標を設定し事業を進めていく。								
指標の推移								
1	指標名	研修会等の参加者数					活動指標	
		(人)						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	200.0	800.0	800.0	800.0	800.0
	実績	0.0	0.0	637.0	692.0	867.0	441.0	0.0
	指標の概要	地域リーダー研修会・ケアマネジャー向け研修会・多職種による意見交換会・市民講演会の参加者数						
2	指標名							
		(人)						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	1,202	1,328	1,790	0
	県支出金	(千円)	601	664	895	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	601	664	895	0
	一般財源	(千円)	717	793	1,068	0
事業費計		(千円)	3,121	3,449	4,648	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	2.00	2.00		
		時間外勤務 (時間)	100.00	100.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	14,363	13,813		
事業コスト		(千円)	17,484	17,262		

R02年度当初積算根拠	在宅医療・介護連携推進に要する経費 4,648千円					
	01会計年度任用職員報酬 1,492千円					
	07報償金 1,996千円					
	08費弁 89千円					
	10需用費 618千円					
	11通信運搬費 258千円					
	12委託料 135千円					
	13賃借料 60千円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	3 法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について	
優先度	- 法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか	



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	60	132	216	0
	県支出金	(千円)	30	66	108	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	30	66	108	0
	一般財源	(千円)	35	80	130	0
事業費計		(千円)	155	344	562	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.50		
		時間外勤務 (時間)	100.00	100.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,778	3,639		
事業コスト		(千円)	3,933	3,983		

R02年度当初積算根拠	地域ケア会議推進に要する経費 562千円					
	07報償金 360千円					
	11通信運搬費 182千円					
	18負担金 20千円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	368 認知症総合支援事業									
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部地域包括支援課 包括支援係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	08-030301-13 認知症総合支援に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
要求区分		事業期間	平成27年度～							
個別計画	つくば市高齢者福祉計画									
根拠法令	介護保険法				事業体制	一部委託				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。</p>					<p>・認知症専門医の指導の下、専門職が認知症が疑われる人又は認知症の人やその家族を訪問し、観察・評価を行った上で家族支援等の初期の支援を包括的・集中的に行い、かかりつけ医と連携しながら認知症に対する適切な治療に繋げて、自立生活のサポートを行う。</p>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症カフェを4か所で開催する。</li> <li>認知症初期集中支援チームを実施（2チーム体制） チーム員会議開催（年24回） 支援対象者に対し適切な支援を行う。</li> <li>認知症初期集中支援チーム検討委員会開催（おおむね3回）</li> <li>市民向けのケアパスを作成し、配布する。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症カフェ 5カ所で延43回開催 延参加者数766人（内認知書症本人102人）</li> <li>初期集中支援チーム 支援ケース数 北部10件/南部16件 検討委員会2回/チーム員会議18回/合同チーム員会議2回</li> <li>認知症ケアパス 市民向け認知症ケアパス「認知症安心ガイドブック」を作成 5000部発行 地域包括支援センター 在宅介護支援センター、イベント等で配布。</li> </ul>					
成果					課題					
<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症カフェを新たに2か所開設し、新しい参加者が増加し、地域での認知症の理解が進み、認知症本人の意思が尊重される地域づくりができた。</li> <li>認知症初期集中支援チームを2チーム体制にして対応件数が増え、早期診断・早期対応することができた。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症カフェを市内4か所で実施したが、市民がさらに参加しやすい開催地の選定が必要である。</li> <li>より多くの方が認知症カフェに参加できるよう、広く周知する必要がある。</li> </ul>					
改善目標（R02年度にむけて）										
<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症カフェの周知に力を入れる。</li> <li>認知症の本人や地域の方が参加しやすい場所等を考慮し、カフェの開催地を増やしていく。</li> </ul>										
指標の推移										
1	指標名	認知症カフェ開催数					( 会議 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	18.0	24.0	36.0	36.0		
	実績	0.0	0.0	11.0	12.0	36.0	43.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名	認知症カフェ参加数					( 人 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	79.0	251.0	280.0	672.0	766.0	0.0		
	指標の概要									

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	1,236	3,048	3,546	0
	県支出金	(千円)	618	1,524	1,773	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	618	1,524	1,773	0
	一般財源	(千円)	739	1,821	2,117	0
事業費計		(千円)	3,211	7,917	9,209	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.60	1.60		
		時間外勤務 (時間)	30.00	30.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	11,367	10,927		
事業コスト		(千円)	14,578	18,844		

R02年度当初積算根拠	認知症総合支援に要する経費 9,209千円 01会計年度任用職員報酬 1,492千円 07報償金 864千円 08旅費費弁 121千円 10需用費 436千円 11通信運搬費 21千円 12委託料 6,119千円 18負担金 156千円
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	369 生活支援体制整備事業									
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部地域包括支援課 介護予防係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	法定事務				
予算科目	08-030301-15 生活支援体制整備に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
要求区分		事業期間	平成27年度～							
個別計画	つくば市高齢者福祉計画									
根拠法令	介護保険法					事業体制	一部委託			
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>支援を必要とする高齢者が増加する中、互助を基本とした地域の支え合いの体制づくりを行い、高齢者の地域における自立した日常生活の支援及び要介護状態となることへの予防または要介護状態の軽減もしくは悪化を防ぐ。</p>					<p>・地域の多様な主体がメンバーとなり、その地域ならではの支え合いの仕組みづくりを話し合う場である「第2層協議体」を各圏域ごとに設置し、協議体と協力しながら地域の様々な活動をつなげ組み合わせる調整役として、地域の実情に詳しい「生活支援コーディネーター」の配置を行う。</p>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>各日常生活圏域ごとに全体説明会・協議体設置準備会議及び必要に応じた勉強会（小・中学校区単位）を開催し、第2層協議体の設置を行う。</li> <li>生活支援コーディネーターの人選を行い、進捗状況に合わせて配置を行う。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>2層協議体会議 茎崎・豊里・筑波・大穂3回、谷田部西・谷田部東2回、桜1回開催（谷田部西・谷田部東は8月、桜は9月に協議体設置）</li> <li>2層協議体準備会議 谷田部西・谷田部東2回、桜3回開催</li> <li>茎崎・豊里・筑波・大穂では、地域資源を再確認し、地域の特性から支え合いを生み出す検討を行った。左記の4圏域には、令和2年1月から社会福祉協議会に生活支援コーディネーターの委託を行い配置した。</li> </ul>					
成果					課題					
<ul style="list-style-type: none"> <li>谷田部西・谷田部東・桜では、準備会議で説明を重ねて事業への理解が深め、合意形成の上、2層協議体を設置できた。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>谷田部西・谷田部東・桜圏域に、生活支援コーディネーターが配置されていない。</li> </ul>					
改善目標（R02年度にむけて）										
生活支援コーディネーターが配置されていない圏域において、担い手の確保に向けて取り組んでいく。										
指標の推移										
1	指標名	第2層協議体の設置数					( 場所 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	7.0	7.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	7.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	196	1,878	11,234	0	
	県支出金	(千円)	98	939	5,617	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	98	939	5,617	0	
	一般財源	(千円)	117	1,123	6,711	0	
事業費計		(千円)	509	4,879	29,179	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.00			
		時間外勤務 (時間)	50.00	50.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	7,182	6,906			
事業コスト		(千円)	7,691	11,785			

R02年度当初積算根拠	生活支援体制整備に要する経費29,179千円						
	報償費	840千円	生活支援体制整備推進会議委員謝礼 生活支援体制整備事業フォーラム謝礼				
	需用費	31千円	事務用消耗品				
	役務費	96千円	地域ケア会議・第1層協議体会議通知 地域ケア会議・第1層協議体会議資料送付 フォーラム通知、広告料				
	委託料	28,223千円	地域支援事業(第2層生活支援コーディネーター)委託料 議事録作成委託料				

予算の方向性	理由	全ての日常生活圏域に生活支援コーディネーターを配置するため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	71	124	739	0
	県支出金	(千円)	40	62	370	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	137	196	370	0
	一般財源	(千円)	72	114	441	0
事業費計		(千円)	320	496	1,920	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.30		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,118	2,035		
事業コスト		(千円)	2,438	2,531		

R02年度当初積算根拠	短期集中予防サービスに要する経費1,920千円 12委託料8,000円×240人					
-------------	---	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	低栄養改善・口腔機能向上プログラムを新たに実施するため
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	15	10	195	0
	県支出金	(千円)	7	5	97	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	7	5	97	0
	一般財源	(千円)	9	5	117	0
事業費計		(千円)	38	25	506	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.00		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	0		
事業コスト		(千円)	38	25		

R02年度当初積算根拠	認知症高齢者等保護支援事業に要する経費 506千円					
	10需用費 46千円					
	11手数料 275千円					
	19扶助費 185千円					

予算の方向性	理由
--------	----

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	10	36	0	
	県支出金	(千円)	0	5	18	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	16	58	0	
	一般財源	(千円)	0	11	35	0	
事業費計		(千円)	0	42	147	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.00			
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	0	0			
事業コスト		(千円)	0	42			

R02年度当初積算根拠	地域リハビリテーション活動支援事業に要する経費147千円 10委託料3,850円×38回						

予算の方向性	理由	
維持		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	357 介護支援ボランティア事業								
戦略プラン	I	1	1	高齢者支援体制の整備	担当部課 係名	保健福祉部地域包括支援課 介護予防係			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	任意的事務			
予算科目	08-030201-15 介護支援ボランティア事業に要する経				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
要求区分	事業期間 平成26年度～								
個別計画	つくば市高齢者福祉計画								
根拠法令	介護保険法					事業体制	一部委託		
					市長公約				
概要									
事業の目的					事業の概要				
地域貢献や社会参加活動を通じて、高齢者の生きがいを促進し、自身の健康増進や介護予防につなげる。					<ul style="list-style-type: none"> <li>市内に住所を有する65歳以上（つくば市第一号被保険者）で要支援・要介護認定を受けていない方が、介護支援ボランティア登録を行い、市が指定した介護支援ボランティア受入機関でボランティア活動を行った場合、活動実績を評価した上でポイントを付与し、当該登録者からの申出によりポイントに応じた交付金を交付する。</li> </ul>				
評価									
事業計画					活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>広報やホームページ等を活用して制度の周知を行う。</li> <li>登録者のボランティア継続の意思確認とボランティアの交流会を開催する。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>全区会回覧を実施し、介護支援ボランティア登録会・交流会を実施</li> <li>実施要項を改正し、交付金の増額と活動の範囲、内容を拡大した。</li> <li>登録者数：163名</li> <li>受入機関数：55施設</li> </ul>				
成果					課題				
<ul style="list-style-type: none"> <li>全区会回覧を実施し、介護支援ボランティアの周知と登録の機会を設けることで、登録者を増やし、高齢者の生きがいを促進することができた。</li> <li>内容を拡充し、施設等の送迎車を利用した買物支援と介護支援ボランティアによる移動支援についてもポイントの対象とし、更なる活動の促進につながった。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア登録、活動場所選定、活動の継続に手続的・心理的障壁があると考えられ、活動につながっていない登録者がいる。</li> <li>受入施設については、登録内容の変更等の届出がされていない施設があるので、定期的に内容の確認を行っていく必要がある。</li> </ul>				
改善目標（R02年度にむけて）									
<ul style="list-style-type: none"> <li>活動につながるよう、各施設ごとの活動内容などをまとめた資料を作成するなどして支援を行う。</li> <li>受入機関の情報が適宜更新される仕組み作りを行う。</li> </ul>									
指標の推移									
1	指標名	介護支援ボランティア実活動者数						活動指標	
		( 人 )							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	50.0	60.0	65.0	80.0	80.0	80.0	80.0	
	実績	54.0	70.0	75.0	55.0	77.0	71.0	0.0	
	指標の概要								
2	指標名								
		( )							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	445	441	636	0
	県支出金	(千円)	223	220	318	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	704	696	1,004	0
	一般財源	(千円)	408	405	584	0
事業費計		(千円)	1,780	1,762	2,542	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	25.00	25.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,474	1,419		
事業コスト		(千円)	3,254	3,181		

R02年度当初積算根拠	介護支援ボランティア事業に要する経費 2,542千円 10需用費 168千円 11通信運搬費 28千円 12委託料 1,796千円 18交付金 550千円					
-------------	---	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	買物支援事業の添乗や住民同士の移送支援をポイントの対象にし、事業を拡充するため
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		